

## 平成16年度高等教育研究改革推進経費報告

## 獣医学分野における感染症診断・解析技術に関する教育体制の確立

獣医学部獣医学科，責任者：有嶋和義

代表担当者：木内明男

1. 関連するカリキュラムの科目名：獣医微生物学，家畜伝染病学，獣医寄生虫学
2. 単位認定：有
3. キーワード：①感染症 ②診断 ③HACCP
4. 教育研究の特色・独創的な点：近年，獣医師として関与する感染症が，我が国を始めとして世界各地で大発生している。より高度な先端的技术を習得し，これら感染症を適切に診断・解析する能力を有する人材の育成は，社会の強い要求である。最新の技術を取り入れた感染症学の教育体制を確立することは極めて重要であり，独創的試みである。
5. 購入備品
  - ・ BIO-RAD 680 マイクロプレートリーダー
  - ・ BIO-RAD 1575 マイクロプレートウォッシャー
  - ・ MyCycler サーマルサイクラーシステム
  - ・ オリンパスデジタルカメラ付顕微鏡システム
  - ・ 和研薬低温型自動炭酸ガス細胞培養装置 9100
6. 教育・研究内容

平成16年度は，PCR装置（サーマルサイクラーシステム）及びELISA（酵素免疫測定法）（マイクロプレートリーダー，マイクロプレートウォッシャー）を6402実習室と6403実習室に設置した。これによって，家畜保健衛生所や食肉衛生検査所で実施されているレベルの機器の取り扱い・測定方法に十分に対応できると考えられた。また，感染症を理解するためには，病原微生物（細菌，真菌，ウイルス感染細胞，原虫，寄生虫等）を顕微鏡下で観察することが，必須のことである。平成16年度に両実習室（6402，6403）に整備したデジタルカメラ付き顕微鏡システムを使用した実習を行うことで学生の理解度を一段と深くできたと考えられた。